



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場会社名 株式会社エコス 上場取引所 東
 コード番号 7520 URL http://www.eco-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 邦雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長兼 財務経理部長 (氏名) 村山 陽太郎 (TEL) 042-546-3711
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	81,614	2.0	1,000	10.9	978	12.4	548	54.5
25年2月期第3四半期	80,004	△1.0	902	5.7	871	10.8	354	72.6

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 559百万円(55.5%) 25年2月期第3四半期 359百万円(40.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	56.77	55.38
25年2月期第3四半期	36.42	36.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	33,720	6,456	18.3
25年2月期	34,236	6,352	17.8

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 6,176百万円 25年2月期 6,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	1.1	1,650	2.5	1,600	3.1	600	1.4	61.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年2月期3Q	9,838,917株	25年2月期	9,748,917株
26年2月期3Q	711,194株	25年2月期	11,077株
26年2月期3Q	9,655,344株	25年2月期3Q	9,737,923株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、一部には景気回復の兆しも認められるものの、雇用情勢の厳しさや個人所得の低迷により個人消費は伸び悩み傾向にて推移し、厳しい状況が続いております。小売業におきましても、お客様の低価格志向が更に顕著となり、企業間の価格競争が激化するなど、厳しい経営環境が依然として続きました。

このような環境の中、当社グループはこれまで通り食品スーパーマーケット事業に資源を集中し、経営方針である社是「正しい商売」を徹底し、お客様の信頼と支持を更に獲得するために、安心・安全でお買い得な商品の提供に努め、地域のお客様の食文化に貢献できる店舗づくりに取り組んでまいりました。

収益力改善のため新規に1店舗（たいらやプライムマートテクノ店）を出店し、不採算店舗1店舗を閉鎖し、既存店の活性化のため10店舗のリニューアル改装を実施いたしました。

店舗運営面におきましては、安心・安全、新鮮で美味しい商品の提供、地域の実勢価格を丁寧に見極め集客につながる商品を割安感のある価格（エブリディロープライス）にて投入、働く女性や中高年層のお客様、また東日本大震災以降に意識が高まった省エネ志向の消費者にお応えする簡便商品や惣菜商品の強化などに努めると共に、お買物がし易い品揃えや店舗レイアウトの変更などを実施いたしました。また、ポイントカードを活用した販売促進や週間の販売計画に連動した売場づくりを強化し、集客の拡大に努めました。

商品面におきましては、地域市場や漁港などを活用した産直商品の積極的導入、美味しさ、品質と価格の両面において競争力の高い生鮮食料品を提供すると共に、川越惣菜工場にて企画・製造した独自商品の提供を拡大し、惣菜売場の活性化に努めました。日配・ドライグロサリー商品につきましては、個人消費の冷え込みに対し、エブリディロープライス商品を投入するなど積極的な販売活動を推進いたしました。

その結果、チラシ攻勢による競合との顧客争奪戦や、消費者の節約志向による単価下落の影響はあったものの、当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は、816億14百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。また、営業総利益につきましては、前第3四半期連結累計期間に比べ2億89百万円増加（前年同四半期比1.4%増）し、販売費及び一般管理費につきましては、前第3四半期連結累計期間に比べ1億91百万円増加（前年同四半期比1.0%増）いたしました。この結果、利益面につきましては、営業利益10億円（前年同四半期比10.9%増）、経常利益9億78百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。最終利益につきましては、固定資産除却損等1億37百万円の特別損失が発生しておりますが、特別損失は前第3四半期連結累計期間に比べ44百万円減少（前年同四半期比24.3%減）していることにより、5億48百万円の四半期純利益（前年同四半期比54.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億15百万円減少し、337億20百万円となりました。これは主に、商品及び製品等が増加したものの、未収入金等が減少したためであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ6億18百万円減少し、272億64百万円となりました。これは主に、買掛金等が増加したものの、短期借入金等有利子負債が減少したためであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億3百万円増加し、64億56百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

スーパーマーケット業界におきましては、引き続き価格競争の激化が予想されるなど厳しい経営環境が想定されますが、当社グループは、年度の経営目標の実現に向けて鋭意取り組んでおります。通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績は、ほぼ予定通りに推移しているものと判断しておりますが、消費税増税問題など先行き不透明な要因もあり、現時点では平成25年4月12日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,401,561	1,329,235
売掛金	480,712	620,062
有価証券	23,972	100,626
商品及び製品	3,227,704	3,424,396
原材料及び貯蔵品	23,038	75,651
未収入金	2,297,973	1,577,172
繰延税金資産	383,393	445,571
その他	620,326	750,296
貸倒引当金	△15,547	△15,547
流動資産合計	8,443,136	8,307,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,554,068	9,267,500
土地	6,183,582	6,237,518
その他（純額）	1,500,237	1,459,636
有形固定資産合計	17,237,889	16,964,655
無形固定資産		
	988,692	952,338
投資その他の資産		
投資有価証券	615,815	638,021
敷金及び保証金	5,251,249	5,091,913
再評価に係る繰延税金資産	328,960	328,960
繰延税金資産	987,896	983,008
その他	469,142	551,216
貸倒引当金	△120,193	△119,900
投資その他の資産合計	7,532,870	7,473,218
固定資産合計	25,759,452	25,390,212
繰延資産		
社債発行費	33,437	22,992
繰延資産合計	33,437	22,992
資産合計	34,236,026	33,720,670

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,638,346	6,257,351
短期借入金	4,500,000	2,830,000
1年内返済予定の長期借入金	3,292,396	3,759,827
1年内償還予定の社債	860,000	860,000
未払金	1,678,032	1,605,320
未払法人税等	369,835	217,692
賞与引当金	340,800	661,200
賃貸借契約解約損失引当金	162,000	—
その他の引当金	168,685	157,141
その他	893,587	926,126
流動負債合計	17,903,683	17,274,659
固定負債		
社債	1,685,000	900,000
長期借入金	5,016,855	6,067,724
退職給付引当金	1,380,484	1,315,873
役員退職慰労引当金	497,400	495,510
資産除去債務	135,203	137,129
長期未払金	242,400	159,364
その他	1,022,027	913,994
固定負債合計	9,979,371	9,989,595
負債合計	27,883,054	27,264,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,635,987	2,657,947
資本剰余金	2,910,859	2,932,729
利益剰余金	1,440,010	1,890,742
自己株式	△8,092	△427,462
株主資本合計	6,978,764	7,053,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,644	87,961
土地再評価差額金	△965,806	△965,806
その他の包括利益累計額合計	△889,161	△877,845
新株予約権	263,368	280,303
純資産合計	6,352,971	6,456,415
負債純資産合計	34,236,026	33,720,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	78,302,428	79,927,343
売上原価	59,114,438	60,435,071
売上総利益	19,187,989	19,492,272
営業収入	1,701,687	1,686,742
営業総利益	20,889,677	21,179,014
販売費及び一般管理費	19,987,063	20,178,386
営業利益	902,613	1,000,627
営業外収益		
受取利息	22,632	26,923
受取配当金	8,806	10,773
資材売却による収入	120,356	106,869
その他	30,566	24,091
営業外収益合計	182,362	168,658
営業外費用		
支払利息	150,690	134,638
その他	63,281	55,879
営業外費用合計	213,971	190,517
経常利益	871,004	978,768
特別利益		
賃貸借契約解約損失引当金戻入額	—	50,200
投資有価証券売却益	17,290	—
関係会社株式売却益	—	72
テナント退店違約金収入	30,400	11,000
補助金収入	16,429	6,424
特別利益合計	64,119	67,697
特別損失		
固定資産売却損	—	119
固定資産除却損	55,119	79,346
減損損失	28,675	—
ソフトウェア除却損	—	9,945
固定資産圧縮損	16,429	6,424
店舗閉鎖損失	7,907	29,000
損害賠償金	68,120	—
賃貸借契約解約損	—	6,680
投資有価証券売却損	502	—
投資有価証券評価損	196	1,017
役員退職慰労金	2,500	5,000
会員権評価損	2,150	—
特別損失合計	181,600	137,533
税金等調整前四半期純利益	753,523	908,932

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
法人税、住民税及び事業税	354,680	430,690
法人税等調整額	44,182	△69,868
法人税等合計	398,862	360,821
少数株主損益調整前四半期純利益	354,661	548,110
四半期純利益	354,661	548,110

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	354,661	548,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,983	11,316
その他の包括利益合計	4,983	11,316
四半期包括利益	359,645	559,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359,645	559,426

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の取得)

平成25年10月15日付取締役会決議により、会社法第165条第3項の規程により読み替えて適用される同法第156条の規程に基づき、自己株式取得に係る事項について決定し、平成25年10月16日に自己株式を取得いたしました。

取得した株式の種類 普通株式

取得した株式の数 700,000株

株式取得価額の総額 419,300千円

取得方法 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け